

リリース情報

新成分 セラムバイタルが「FRAGRANCE JOURNAL」(2008年7月号)に掲載されました。

企業トピックス

三省製薬、 シワ修復成分を開発、 今秋新商品発売

1. はじめに

三省製薬㈱は、皮膚のシワを修復する新成分「セラムバイタル」の開発に成功した。「セラムバイタル」は、西洋ハーブの一種であるローズマリーから独自の製法で抽出した成分で、同社は研究の結果、紫外線によってできた皮膚のシワを修復する作用を有することを見いだした。

また、「セラムバイタル」を主成分として配合した新商品を、10月下旬に自社の化粧品通信販売ブランド「デルメッド」で発売する。

2. シワができるメカニズム

シワは皮膚の老化現象のひとつである。皮膚の老化は、加齢による自然老化と、紫外線が原因で起こる光老化に分類される。特に、日常的に紫外線を浴びる顔、うなじ、手の甲などでは、光老化現象が顕著に現れ、皮膚が硬くゴワゴワし、深いシワが目立つ。このような光老化皮膚では、表皮が肥厚し、真皮のハリ・弾力を保持するエラスチン、コラーゲン繊維、ヒアルロン酸などの変性が起

きていることが知られている。

3. 「セラムバイタル」のシワ修復効果

「セラムバイタル」は、ヒアルロン酸やエラスチンを分解する酵素の活性を大幅に抑制する作用を有する。また、紫外線によりシワができた皮膚についても、表皮の肥厚を改善し、変性したエラスチン、コラーゲン繊維を正常な状態に戻すことが確認されている。今回、「セラムバイタル」を配合したクリームを、被験者の目尻部分のシワに塗布した試験を行った。その結果、クリーム塗布により、2カ月頃から太く深いシワが浅くなるのが、外観の観察や、皮膚の凸凹を複写したレプリカで確認され(図1)、「セラムバイタル」配合クリームがシワを修復する効果があることがわかった。

4. まとめ

同社では、同成分のシワ修復作用について、植物抽出成分では他に類を見ない高い効果であると考えている。今後は、自社ブランドでの発売以外に、同成分を配合した製剤のOEM展開を視野に入れて、シワに効果のあるスキンケア商品の開発を行っていく予定である。

[問合せ先: 経営企画本部事業開発室, 担当: 尾上智子 (onoue@dermed.jp), 川嶋俊哉 (kawashima@dermed.jp) 〒816-8550 福岡県大野城市大池2-26-7, Tel.092-503-2597 (ダイヤルイン), Fax.092-503-0233, 「デルメッド」ホームページ <http://www.dermed.jp>]

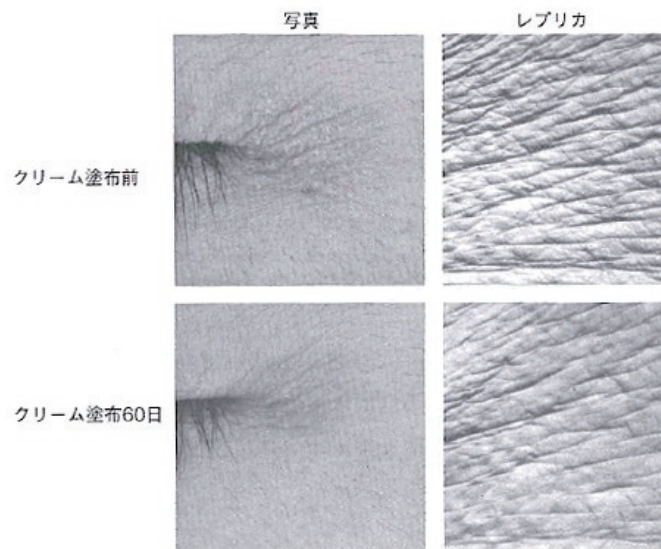


図1 被験者(30代女性)の目尻シワ部分